

# 一 関 地 域

『一関市文化財調査報告書第7集』

一関市文化財調査委員会編

一関市教育委員会 1969

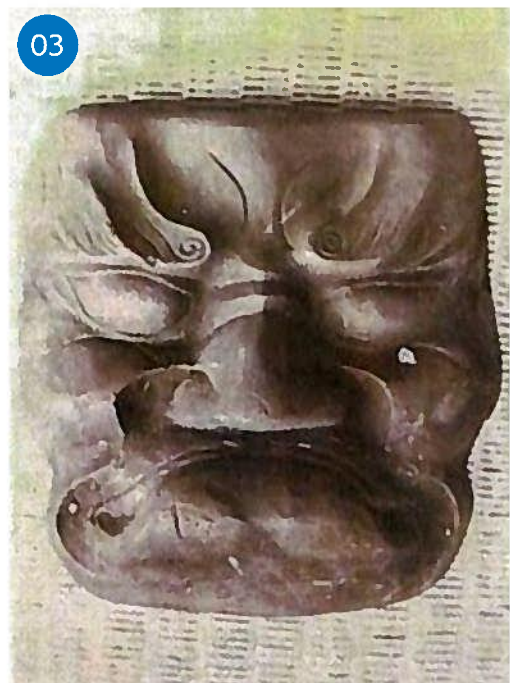
※寸法は縦×横×厚さ 単位(cm)



住 所／巖美町字外谷地  
材 質／木(栗)  
寸 法／34×34×20 名 称／かま別当  
備 考／200年前頃に作成か。巖美八幡次の巳之作と伝えられている。2月9日に伏せた五升枡の上に小豆団子を10個「かさこ」に載せてお供えする。桃の木の簀を添える。ダナドノ(主人)が羽織袴で参拝しその後家族で食べる。



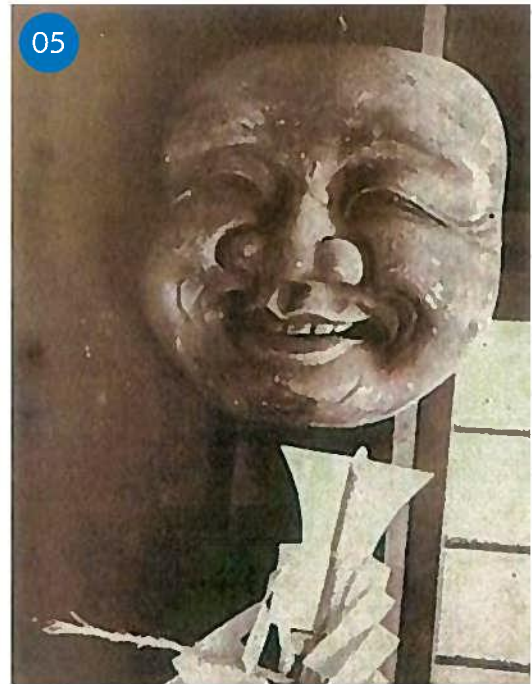
住 所／巖美町字上山口  
材 質／木(松)  
寸 法／21×17×7 名 称／かま別当  
備 考／宝暦年間に建てた家といわれ、その頃の作か。火災の後の新築時に大工が火難除けにダナドノに似せて作ったという。正月三が日「ごへい」、お酒、餅等を丸い盆に載せて供える。正月15日の農始めの日には大きな餅を供え、家内中で分けて食べる。



住 所／巖美町字中島  
材 質／木(樺)  
寸 法／30×30×13 名 称／かま別当  
備 考／明治初年に家を建て替える前からあったという。正月に「ごへい餅」、お神酒等を供える。以前はウスモチ柱の上に西向きにかけていた。正月15日には顔にオシロイを塗る。



住 所／舞川字蛙沢  
 材 質／木（まだの木）  
 寸 法／35×24×10 名 称／かまど神  
 備 考／7代目の時に東磐井の薄彦に「かまど神様の王者」を彫ってあげるといわれて頼んだもの。毎月1・15・28日に「変わりご飯」をカサコ、ケヤシキに入れてお供えする。かまどの後ろの柱に東向きにかけている。



住 所／舞川字小戸  
 材 質／木（桑）  
 寸 法／32×29×9 名 称／かま神様  
 備 考／明治11年（1878）の新築の際に同じ地区内から購入。萩荘の仏師の蘓武先生作。正月3日、毎月28日に小豆ご飯を供える。

# 花泉地域

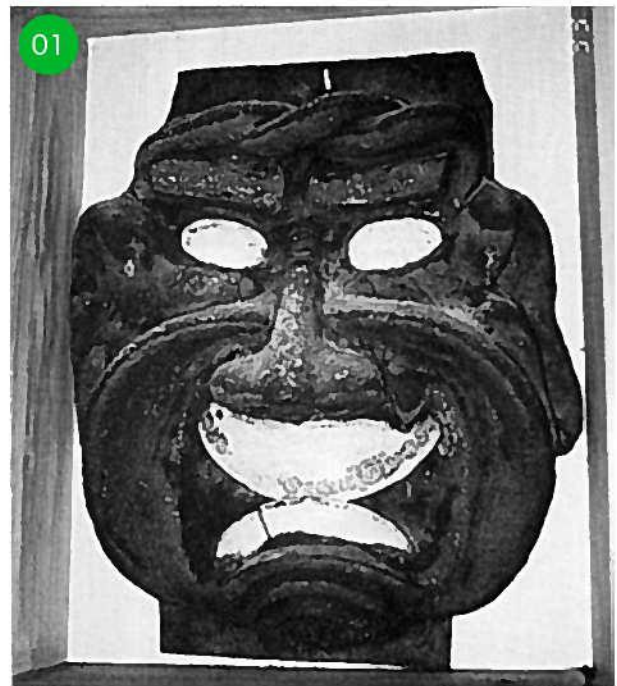
『花泉町文化財調査報告書第7集

花泉町のカマ神』

花泉町教育委員会編

花泉町教育委員会 1994

※寸法は縦×横×厚さ 単位(cm)



住 所／花泉町永井字東狼ノ沢  
材 質／土  
寸 法／44×40×13  
備 考／改築前はウシモチ柱にかけていた。目・  
歯は瀬戸物。



住 所／花泉町涌津字熊ノ倉  
材 質／土  
寸 法／85×71×35  
備 考／気仙の左官が明治4年（1871）頃の新  
築の際に作った。頭に鉢巻き・髭（ひげ）は馬の尻毛・目はランプのホヤ。



住 所／花泉町涌津字熊ノ倉  
材 質／木  
寸 法／23×20×13  
備 考／梁にかけている。



04  
住 所／花泉町涌津字白浜  
材 質／土  
寸 法／50×40×9  
備 考／目は貝殻、歯は瀬戸物。目は言い伝え  
によって掃除しない。



05  
住 所／花泉町涌津字亥年前  
材 質／土  
寸 法／40×35×12  
備 考／100年前の新築時に作ったか。目・歯は  
瀬戸物、頭に鉢巻き。



06  
住 所／花泉町涌津字亥年前  
材 質／木  
寸 法／28×22×13  
備 考／土間の柱にかけている。



07  
住 所／花泉町涌津字台  
材 質／土  
寸 法／30×30×15  
備 考／明治期の建替以前からある。目は瀬戸  
物・歯は貝殻。



08

住 所／花泉町涌津字山中  
 材 質／土  
 寸 法／60×50×12  
 備 考／天保5年（1834）の建替え時に気仙の左官が作ったと聞いている。目・歯は瀬戸物、頭に鉢巻き。



09

住 所／花泉町涌津字浪打前  
 材 質／土  
 寸 法／70×55×30  
 備 考／目はガラス。



10

住 所／花泉町油島字鴻ノ巣  
 材 質／土  
 寸 法／43×45×15  
 備 考／台板に取り付けて台所にかけている。目は瀬戸物、歯は貝殻、頭に鉢巻き。



11

住 所／花泉町油島字日向平  
 材 質／土  
 寸 法／40×33×23  
 備 考／佐藤東作氏が幕末・明治初め頃に作成。目・歯は瀬戸物、髪の毛はワラのミゴ（釋心）。



住 所／花泉町油島字猪岡東  
材 質／木  
寸 法／43×38×15  
備 考／明治初期の建替えの際に作ったか。帽子のようなものをかぶっている。



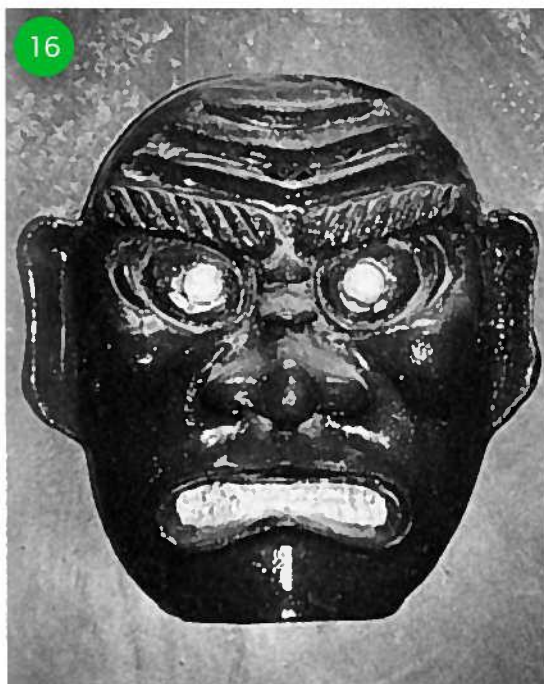
住 所／花泉町油島字猪岡西  
材 質／木  
寸 法／30×22.5×11.5  
備 考／明治以前からある。口に竹製の牙がある。



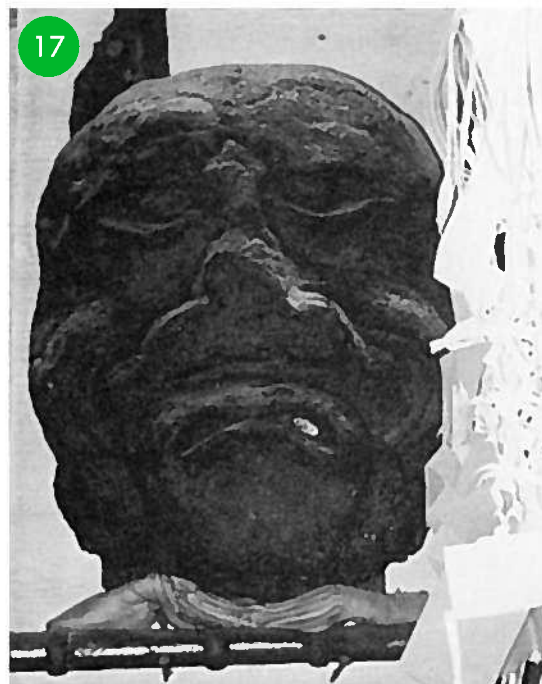
住 所／花泉町油島字田郷多  
材 質／土  
寸 法／30×35×10  
備 考／明治5年(1872)作か。目はガラス、口にガラス製の牙あり。



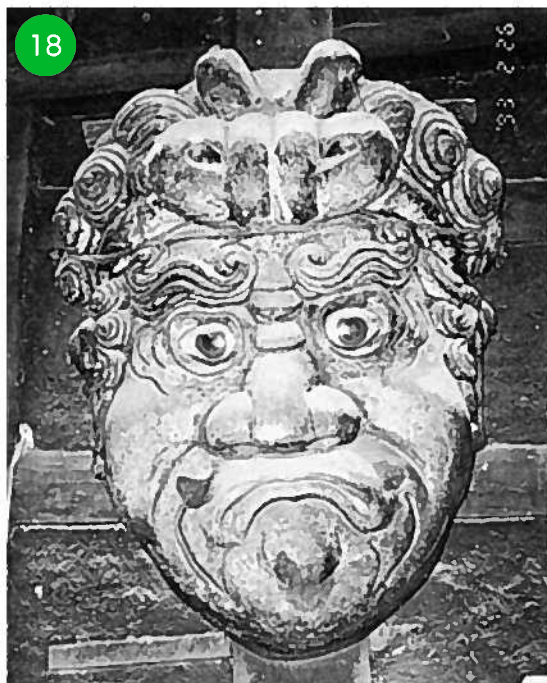
住 所／花泉町油島字上柏木  
材 質／土  
寸 法／38×30×17  
備 考／目はアワビ貝、頭に縄の鉢巻き。正月に掃除する。



住所／花泉町油島字西小田  
 材質／土（瓦）  
 寸法／33×30×13  
 備考／昭和47年（1972）に阿部政男氏（金成  
 [宮城県栗原市]の瓦職人）が作成。目・  
 歯は銀紙。屋根替えの記念に作った。



住所／花泉町花泉字西鹿野  
 材質／土  
 寸法／30×26×16  
 備考／改築前はウシモチ柱にかけていた。



住所／花泉町老松字峠沢  
 材質／土  
 寸法／120×86×41  
 備考／明治28年（1895）に吉田春治氏（当時  
 の気仙郡末崎村在。気仙左官）作。目  
 はランプのホヤ。



住所／花泉町老松字上汁足  
 材質／木  
 寸法／31×19×10  
 備考／江戸時代からと推測。



20

住 所／花泉町老松字上蛭沢  
材 質／木  
寸 法／30×20×8  
備 考／改築前は土間の柱にかけていた。



21

住 所／花泉町日形字中神  
材 質／土  
寸 法／35×30×15  
備 考／目は瀬戸物。歯は貝殻と瀬戸カケの混  
じったもの。



22

住 所／花泉町日形字上通1  
材 質／土  
寸 法／40×40×9  
備 考／気仙の大工の作と聞いている。目・歯  
が貝殻、頭に鉢巻き、髭は馬の尻尾か。



23

住 所／花泉町永井字東狼ノ沢  
材 質／土  
寸 法／44×36×9  
備 考／昔はウシモチ柱にかかっていた。目・歯  
は瀬戸物。



花泉町永井字南小茂  
材 質／土  
寸 法／40×33×19



花泉町老松字小沼  
材 質／土  
寸 法／50×30×15  
備 考／目は貝殻。

# 大東地域

『大東町のかま神 火を守る神々の表情』

大東町文化財調査報告書第12集』

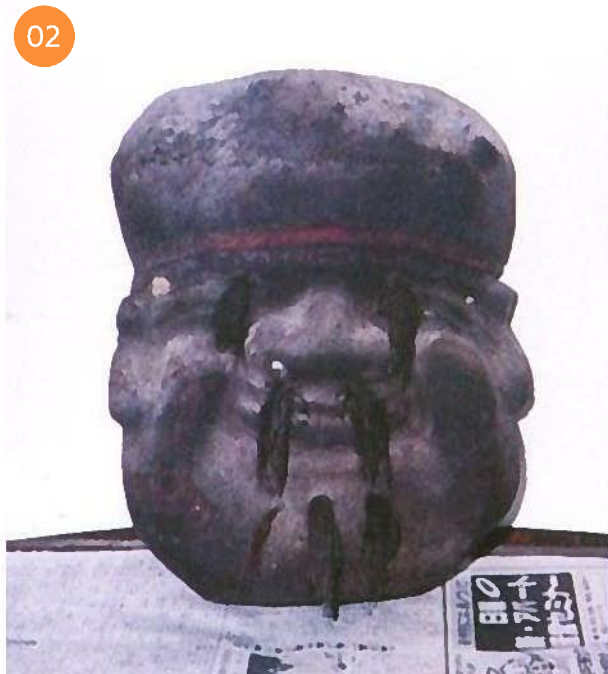
大東町文化財調査委員会編

大東町教育委員会 1989

※寸法は縦×横×厚さ 単位(cm)



01  
住 所／大東町大原字笠置  
材 質／木  
寸 法／34×30×15  
備 考／先祖が彫ったと伝わる。以前は毎月1・15・28日にお供えをしていた。



02  
住 所／大東町大原字雪洞  
材 質／木  
寸 法／25×20×8  
備 考／100年以上は前に作成。



03  
住 所／大東町大原字折坂  
材 質／木  
寸 法／30×24×8  
備 考／「かま別当」といい、正月に幣束と餅を供える。

04



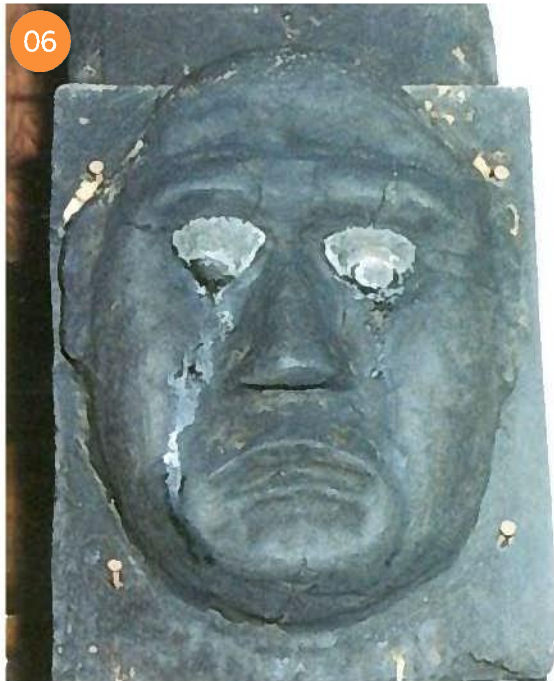
住 所／大東町大原字有南田  
材 質／土  
寸 法／39×32×18  
備 考／正月に供え物。

05



住 所／大東町摺沢字荒屋敷  
材 質／土  
寸 法／40×44×13  
備 考／100年以上前の新築時に職人が作った。

06

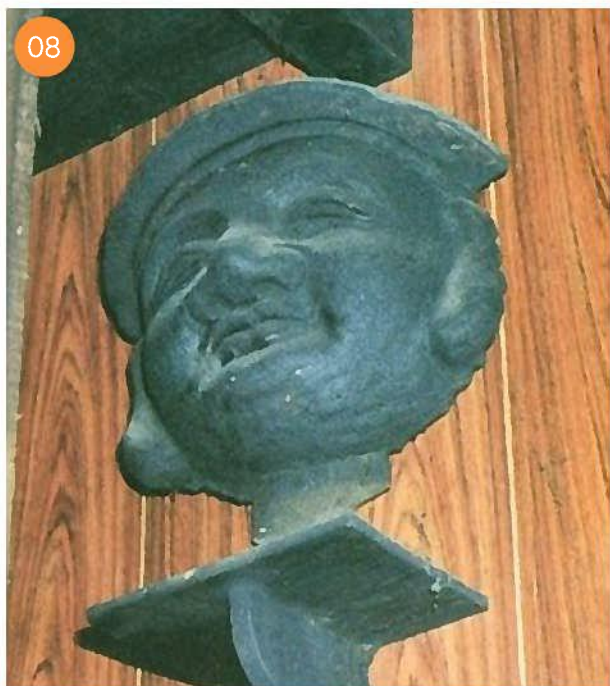


住 所／大東町摺沢字羽山前  
材 質／土  
寸 法／34×26×10  
備 考／目は蛤。子供を諫める際に「カマガミに食わせるぞ」とおどした。

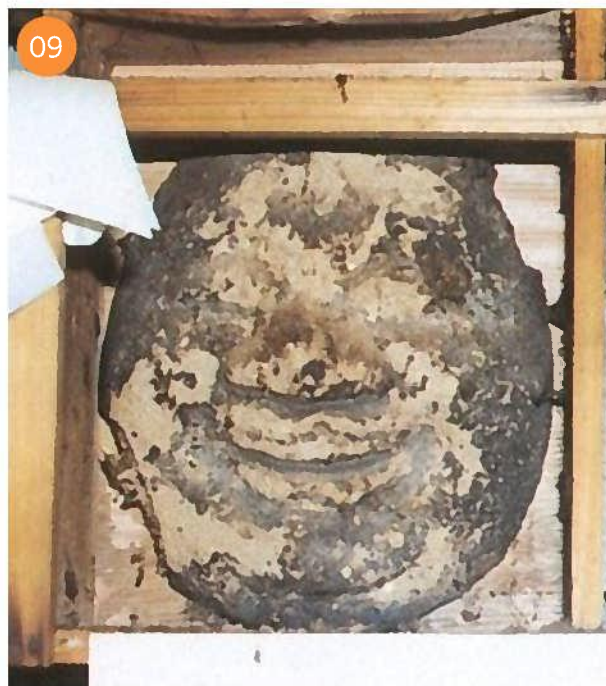
07



住 所／大東町摺沢字菅生前  
材 質／土  
寸 法／40×35×20  
備 考／6代前の初代が自分に似せて作った。目・歯はあわび貝。



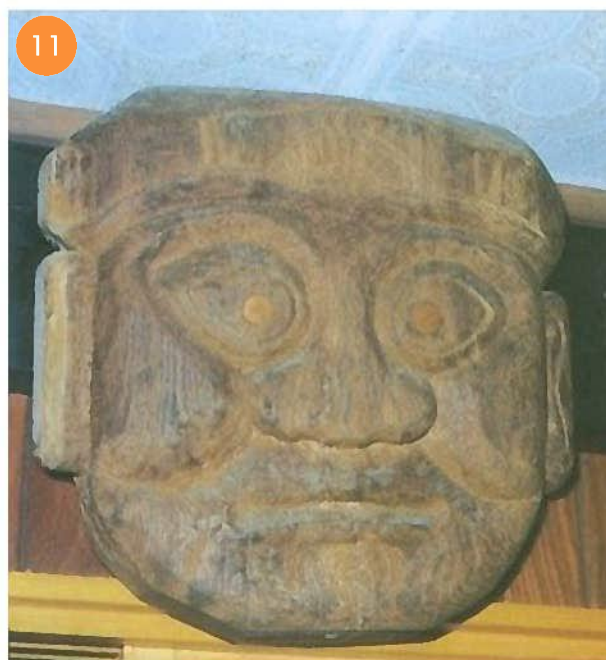
住 所／大東町摺沢字大森  
材 質／土  
寸 法／26×28×13  
備 考／明和元年（1764）作。



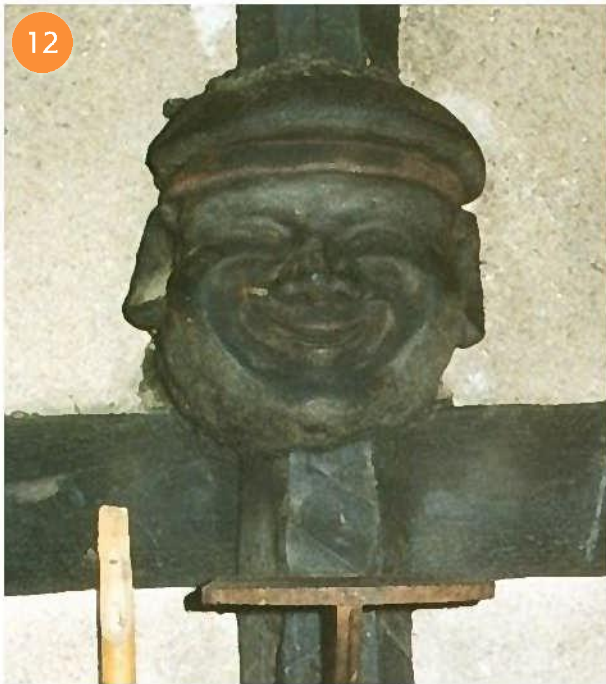
住 所／大東町摺沢字大森  
材 質／土  
寸 法／22×18×7  
備 考／元は、「かま柱」に祀っていた。



住 所／大東町摺沢字下羽折沢  
材 質／木（樺）  
寸 法／63×43×28  
備 考／元はウシモチ柱にあり、入口に向いていた。正月に酒と餅を供える。



住 所／大東町摺沢字下羽折沢  
材 質／木（樺）  
寸 法／40×40×10  
備 考／20年前に作成（※1989年当時）。



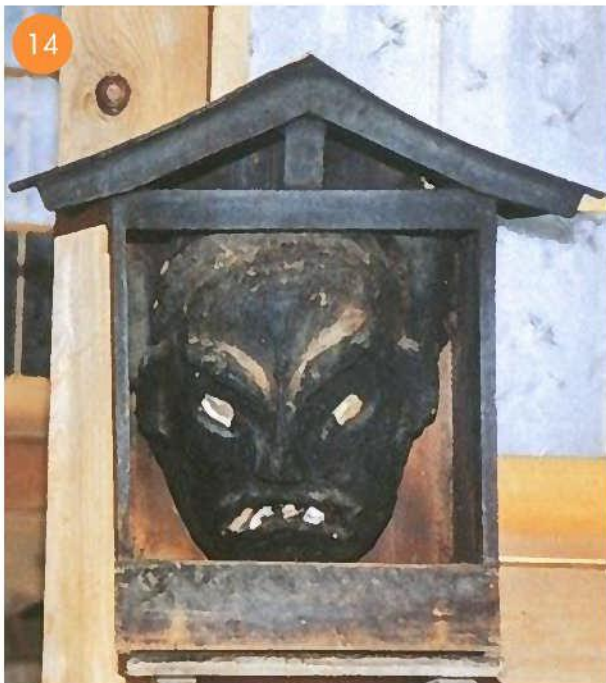
12

住所／大東町摺沢字松原新田  
材質／土  
寸法／30×30×18  
備考／ヨコザ（炉の主人が座る場所）を向いている。



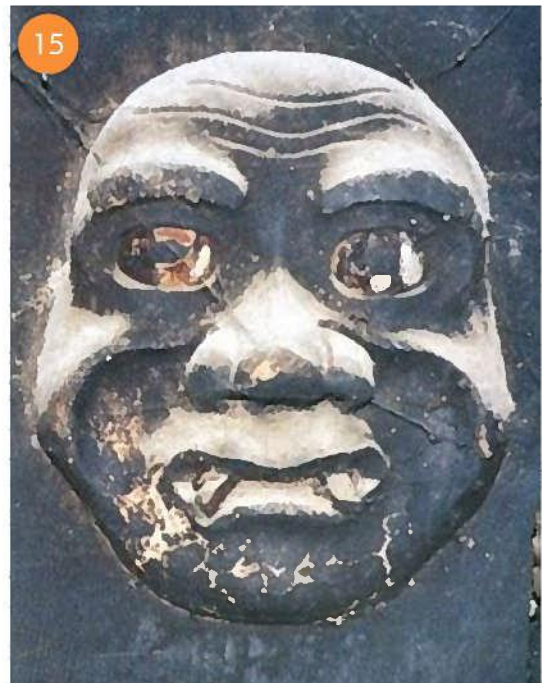
13

住所／大東町摺沢字栃折沢  
材質／土  
寸法／34×29×20  
備考／改築前はカマドの上にあった。



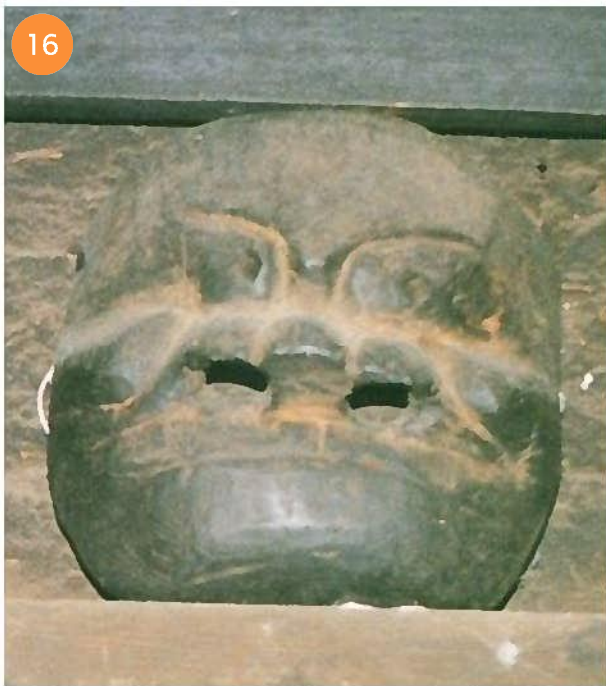
14

住所／大東町摺沢字流矢  
材質／土  
寸法／33×30×22  
備考／目・歯は貝殻。元は紙漉釜の柱にあった。



15

住所／大東町摺沢字小沼  
材質／土  
寸法／33×28×13  
備考／明治4年（1871）の新築時に壁屋が作られた。牙は木。紙漉釜の上でヨコザを向いていた。



16  
住 所／大東町鳥海字古屋  
材 質／木  
寸 法／21×21×12  
備 考／カマ別当。明治15年（1882）の改築の際に余った木材で作った。裏口の鴨居の上に祀っている。



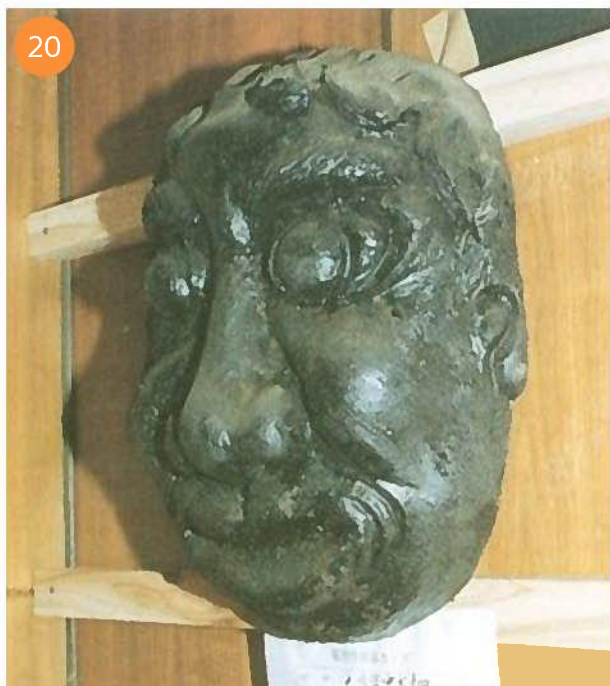
17  
住 所／大東町鳥海字東丑石  
材 質／木  
寸 法／22×17×13  
備 考／200年位前に作成か。元は赤い色だった。カマドのそばの柱にヨコザを向いて祀っている。



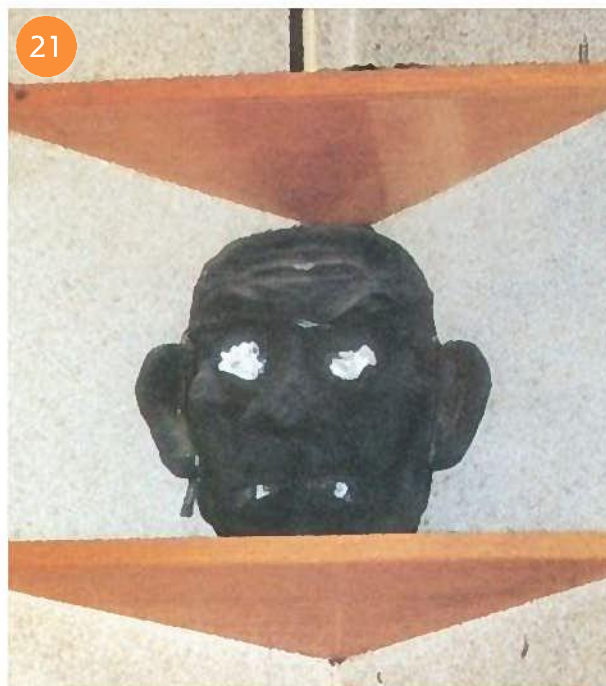
18  
住 所／大東町中川字豊石  
材 質／木（樺）  
寸 法／20×22×11  
備 考／昭和20年（1945）頃に譲り受けた。目はガラス玉。



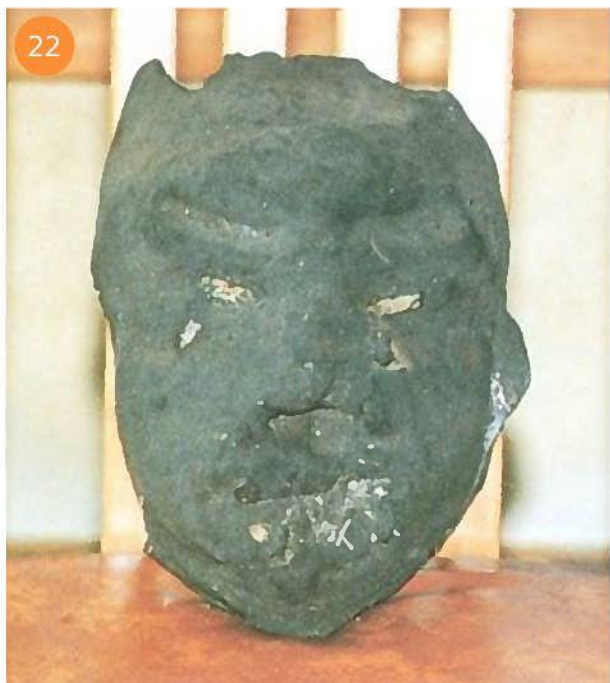
19  
住 所／大東町中川字清水  
材 質／木  
寸 法／45×30×13  
備 考／カマ別当サマ。口に赤の彩色。



20  
住 所／大東町中川字中大畑  
材 質／コンクリート  
寸 法／31×26×13  
備 考／元あったものが破損し、昭和30年（1955）に大原の中津氏に依頼して前のものに似せて作ってもらった。



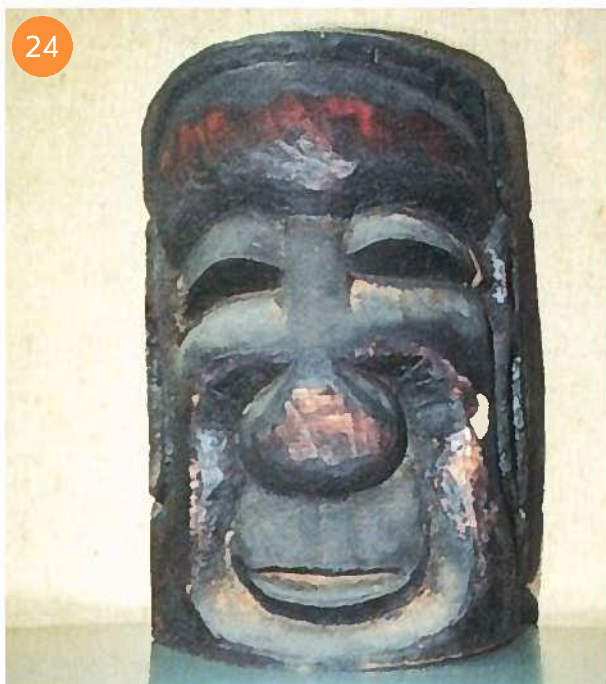
21  
住 所／大東町沖田字久子沢  
材 質／土  
寸 法／30×26×14  
備 考／目は貝。1・15・28日にお供え。



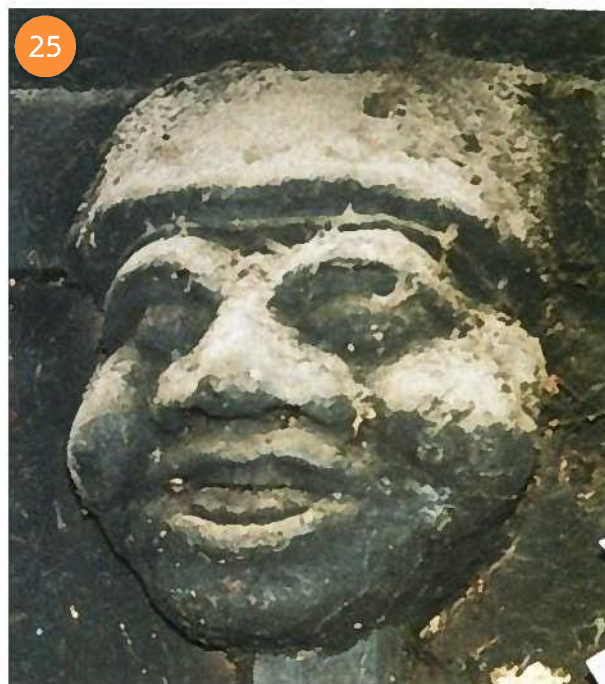
22  
住 所／大東町沖田字久子沢  
材 質／土  
寸 法／25×17×10  
備 考／250年前に作ったという。



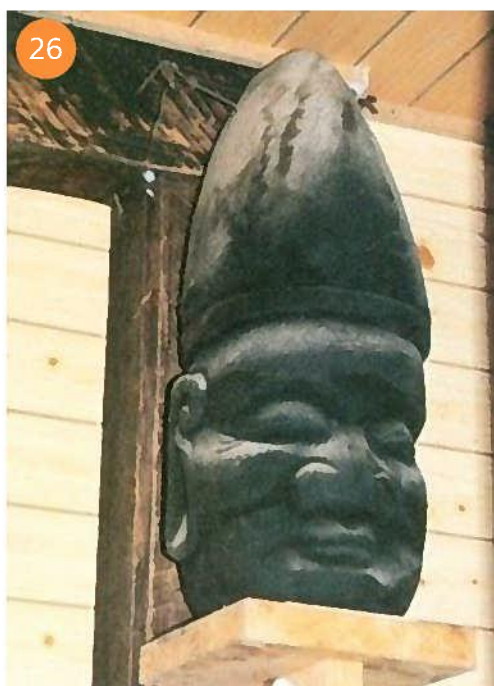
23  
住 所／大東町沖田字細葉  
材 質／木（檜）  
寸 法／49×28×13  
備 考／大黒柱に祀っている。



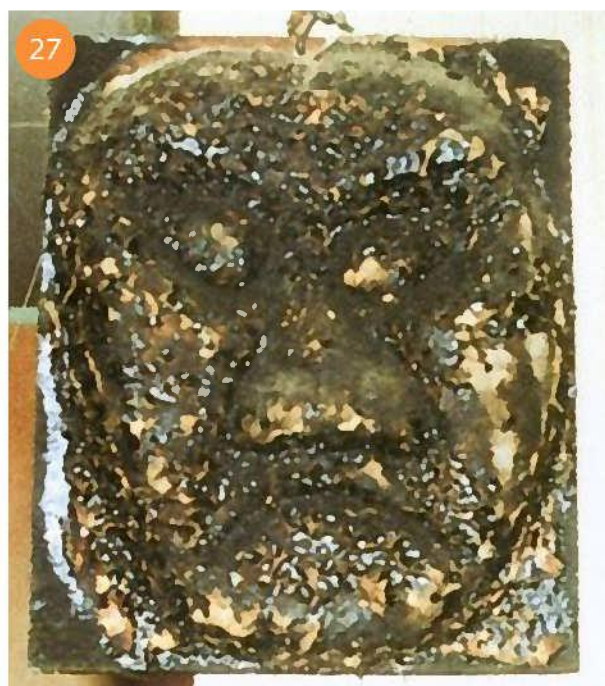
24  
住 所／大東町鳥海字細田  
材 質／木  
寸 法／33×24×17  
備 考／中川字新城からもらった。



25  
住 所／大東町鳥海字古戸前  
材 質／土  
寸 法／50×37×25  
備 考／宝暦年間に作成。ヨコザ向き。



26  
住 所／大東町沖田字久子沢  
材 質／木  
寸 法／65×25×25  
備 考／カマ別当サマという。



27  
住 所／大東町猿沢字小向  
材 質／土  
寸 法／27×22×8  
備 考／明治の初めに作成。



28  
住 所／大東町猿沢字大町裏  
材 質／土  
寸 法／32×30×20  
備 考／6代前の200年ほど前に作成。入口を向いている。目・歯はアワビ貝。



29  
住 所／大東町猿沢字七ッ森  
材 質／土  
寸 法／30×27×14  
備 考／200年程前に新築する際に作った。正月にお供え。



30  
住 所／大東町猿沢字板倉  
材 質／土  
寸 法／55×33×20  
備 考／300年位前という。100年前にも木製で作ったが、オカミサマが占いで「片方だけ拝んでいるのでよくない」と言い、木製は親戚に譲った。目は卵。



31  
住 所／大東町猿沢字山崎  
材 質／土  
寸 法／24×24×15  
備 考／150年程前作成か。目・歯はアワビ貝。



32

住 所／大東町猿沢字菅の沢  
材 質／木  
寸 法／25×20×10  
備 考／昔はカマドの上にあった。



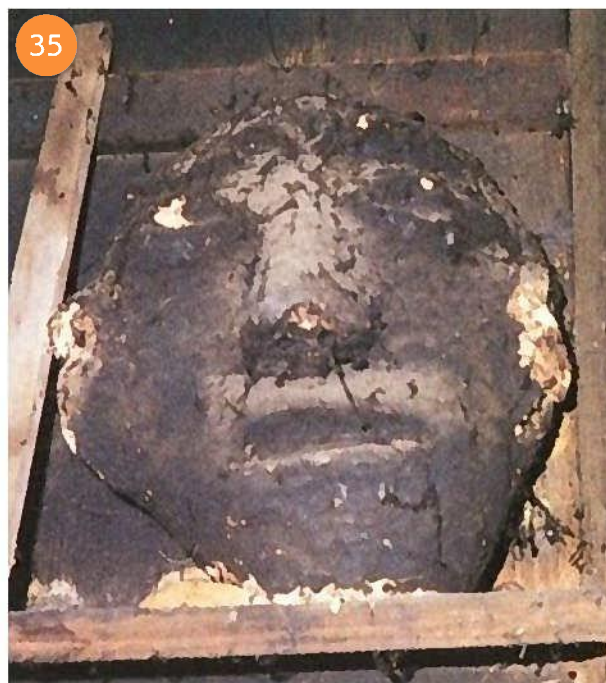
33

住 所／大東町猿沢字清水田  
材 質／木  
寸 法／26×25×13  
備 考／10代前に作成。昔の家のカマドの上にあった。



34

住 所／大東町猿沢字上ノ洞  
材 質／木  
寸 法／42×30×15  
備 考／昭和61年（1986）に盛岡で購入。



35

住 所／大東町猿沢字大町裏  
材 質／土  
寸 法／32×29×20



36

住 所／大東町渡民字雄水  
 材 質／木（樺）  
 寸 法／33×30×15  
 備 考／ニワの柱にヨコザ向きで祀っている。火難除け。腹が立った時にカマ神様とにらめっこすると収まる。カマ神様が落ちると凶事がある。



37

住 所／大東町渡民字水無  
 材 質／木（樺）  
 寸 法／30×27×10  
 備 考／明治中期に祖父が作った。正月、氏神様の祭日、田植えの時に拝む。



38

住 所／大東町渡民字和田沢  
 材 質／土  
 寸 法／50×50×28  
 備 考／カマ別当という。ニワの奥の柱に入口向きに祀っている。年越し、正月に拝む。



39

住 所／大東町渡民字伊勢堂  
 材 質／土  
 寸 法／40×38×20  
 備 考／嘉永年間に作成。入口向きに祀る。1・15・28日、盆・彼岸や命日などに拝む。



40

住 所／大東町渡民字関の上  
 材 質／木（松）  
 寸 法／35×30×16  
 備 考／他家から譲られ、神棚に祀っている。



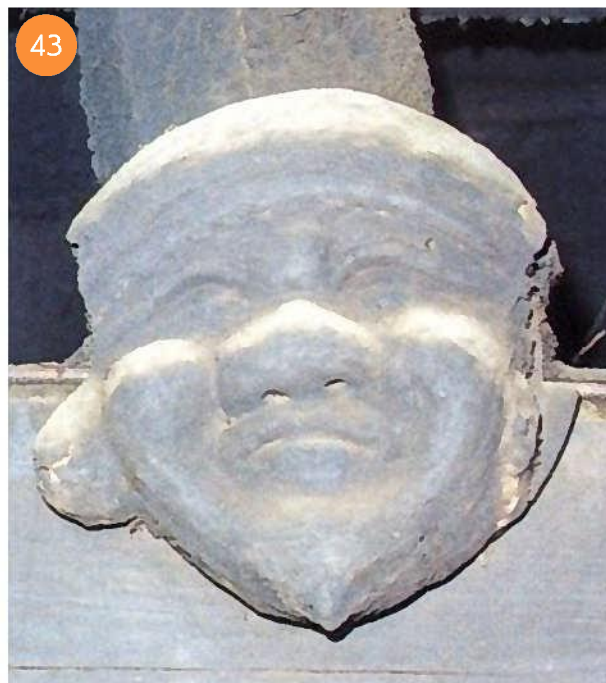
41

住 所／大東町渡民字小林  
 材 質／土  
 寸 法／60×50×30  
 備 考／他の神様を拜む日に拜む。



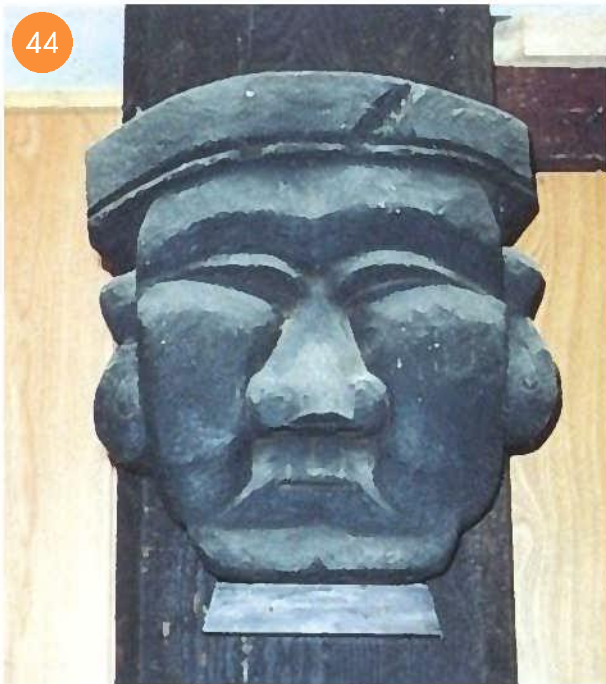
42

住 所／大東町渡民字大洞地  
 材 質／土  
 寸 法／32×27×8  
 備 考／元は炊事場の柱にあった。



43

住 所／大東町渡民字小林  
 材 質／土  
 寸 法／28×25×13  
 備 考／裏口の上の梁にヨコザ向きに祀る。カマ別当。



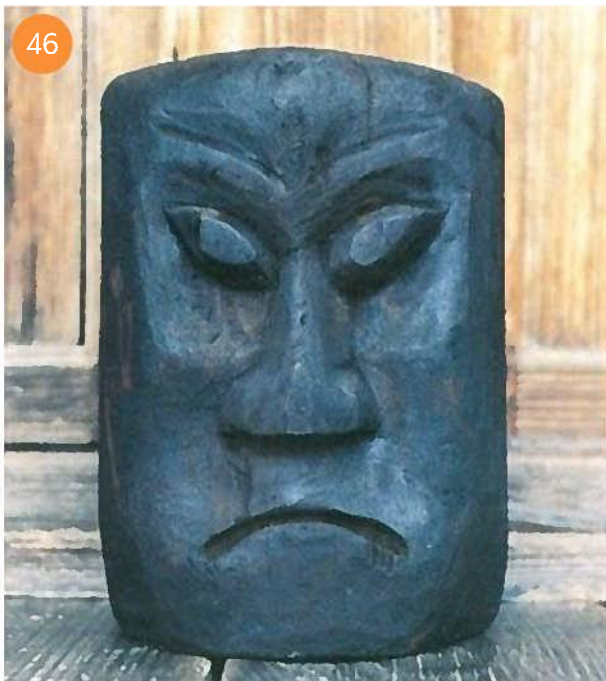
44

住 所／大東町湊民字大馬場  
 材 質／木  
 寸 法／46×42×13  
 備 考／ニワの柱にヨコザ向きで祀っていた。  
 1・15・28日と荒神の祭日に拝む。



45

住 所／大東町曾慶字清水  
 材 質／木  
 寸 法／37×34×18  
 備 考／60年前に家が焼け、祖母の実家からもらってきた。



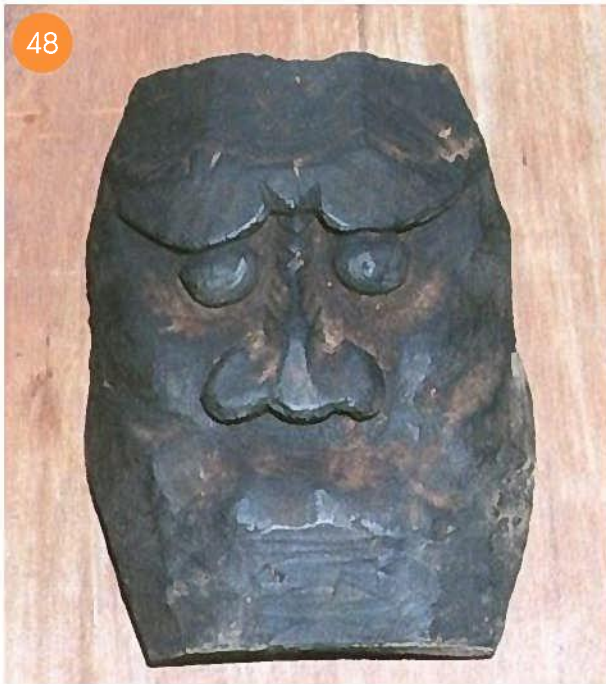
46

住 所／大東町曾慶字惣ヶ屋敷  
 材 質／木（杉）  
 寸 法／27×20×12  
 備 考／家を作るときに「旦那さんの顔に似せて作った」といわれたそう。カマドの上に祀っている。



47

住 所／大東町曾慶字惣ヶ屋敷  
 材 質／土  
 寸 法／30×27×22  
 備 考／歯・耳にアワビ貝。元は大黒柱にあった。



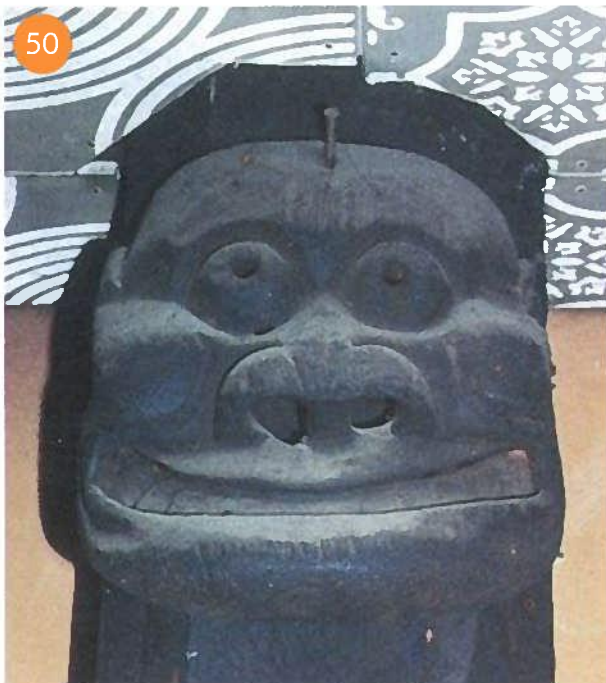
48

住 所／大東町曾慶字佐ノ平  
 材 質／木  
 寸 法／37×28×12  
 備 考／元禄元年か。裏口の鴨居上に祀る。カマ別当。



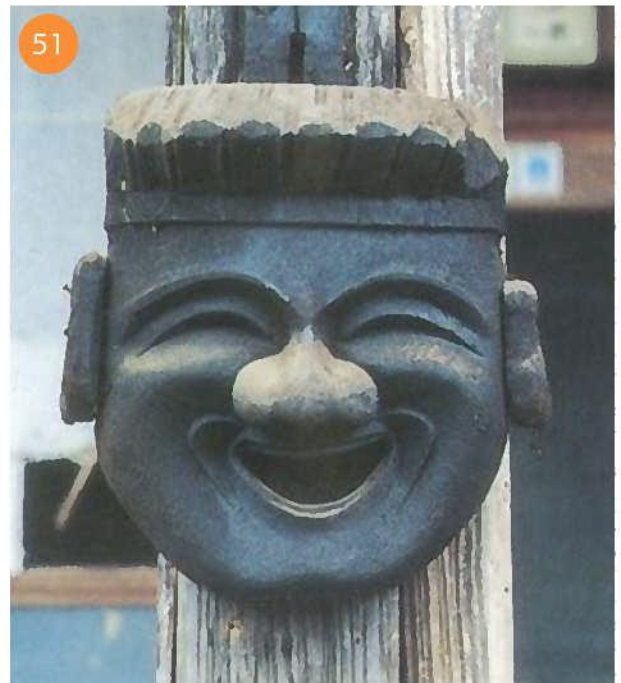
49

住 所／大東町曾慶字神蔭  
 材 質／木  
 寸 法／32×26×12  
 備 考／歯は竹か。カマ別当。



50

住 所／大東町曾慶字西ノ沢  
 材 質／木  
 寸 法／28×24×10  
 備 考／元はニワの奥の柱にあった。カマ別当。



51

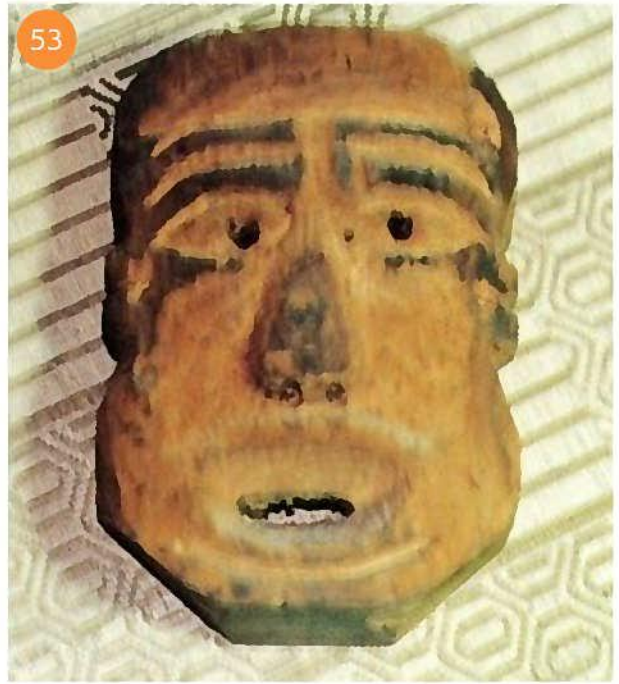
住 所／大東町曾慶字白山  
 材 質／木  
 寸 法／32×30×15  
 備 考／ウシモチ柱にヨコザ向きにある。カマ別当。

52



住 所／大東町曾慶字佐の平  
材 質／木  
寸 法／26×28×22  
備 考／ヨコザ向きにある。カマ別当。

53



住 所／大東町曾慶字七洞  
材 質／木（松）  
寸 法／38×27×11  
備 考／昭和40年（1965）に先代が作った。

54



住 所／大東町大原字笠置  
材 質／木  
寸 法／29×22×13  
備 考／昭和54年（1979）頃作。正月に幣束をあげ、しめ縄をかけ、餅を供える。

55



住 所／大東町大原字笠置  
材 質／木  
寸 法／34×27×5  
備 考／200年位前か。かま別当と称して正月に幣束をあげる。



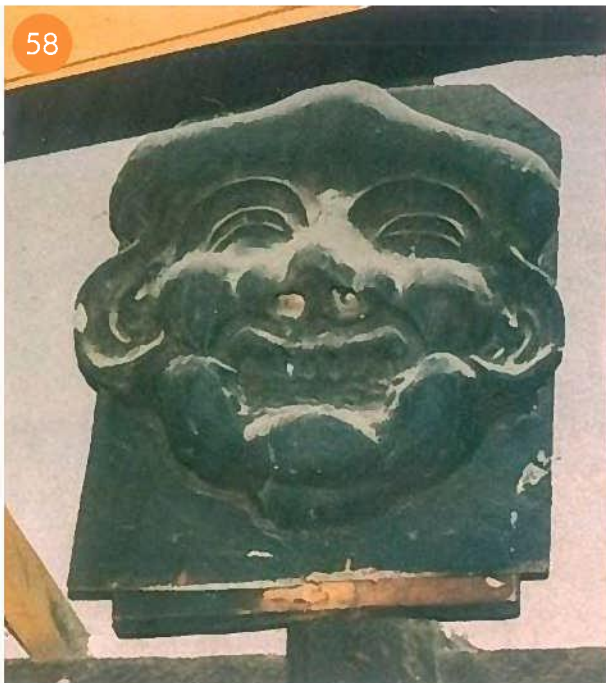
56

住 所／大東町大原字山谷沢  
 材 質／土  
 寸 法／25×20×14  
 備 考／170年位前か。かま別当と称して正月に幣束をあげる。



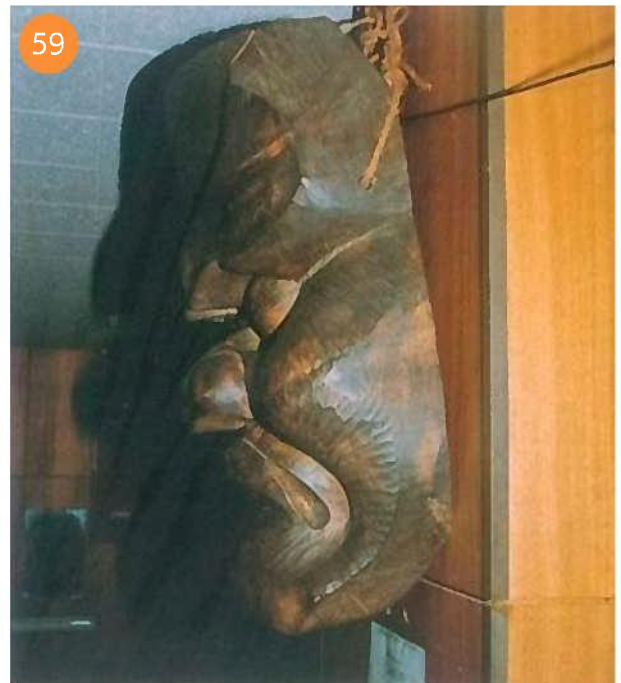
57

住 所／大東町摺沢字流失  
 材 質／木  
 寸 法／25×20×14  
 備 考／紙すきをしていた頃、煮剥ぎの初釜はカマガミ様を拜ってから煮た。粗末にすると眼病になるといわれた。



58

住 所／大東町摺沢字流失  
 材 質／土  
 寸 法／50×50×20  
 備 考／100年位前奥玉の人が作ったか。楮を煮る釜の上にあった。



59

住 所／大東町鳥海字古戸前  
 材 質／木  
 寸 法／60×46×18  
 備 考／近年一関で購入。



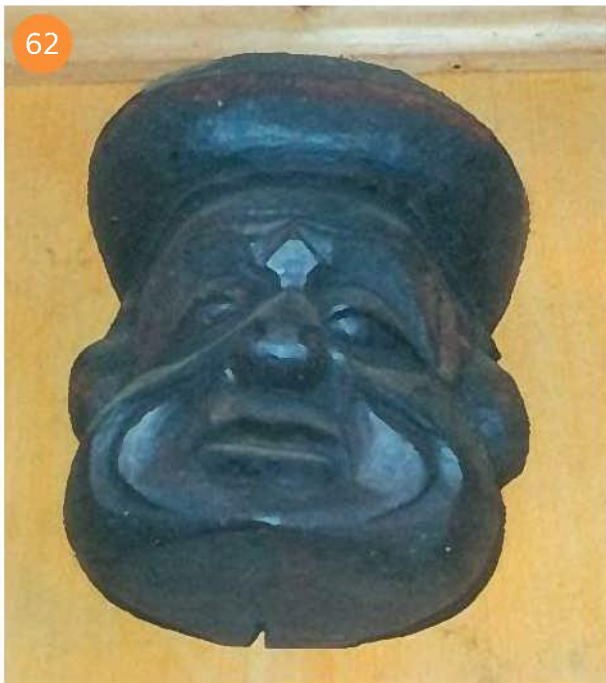
60

住 所／大東町沖田字新田  
材 質／木  
寸 法／23×17×12  
備 考／カマ別当サマ



61

住 所／大東町猿沢字山崎  
材 質／木（桐）  
寸 法／25×20×13  
備 考／大工が作ったといわれている。



62

住 所／大東町渡民字水無  
材 質／木  
寸 法／20×18×15  
備 考／明治初年頃の作。ヨコザ向きだった。  
毎月1・15・28日と氏神の祭日に拝む。

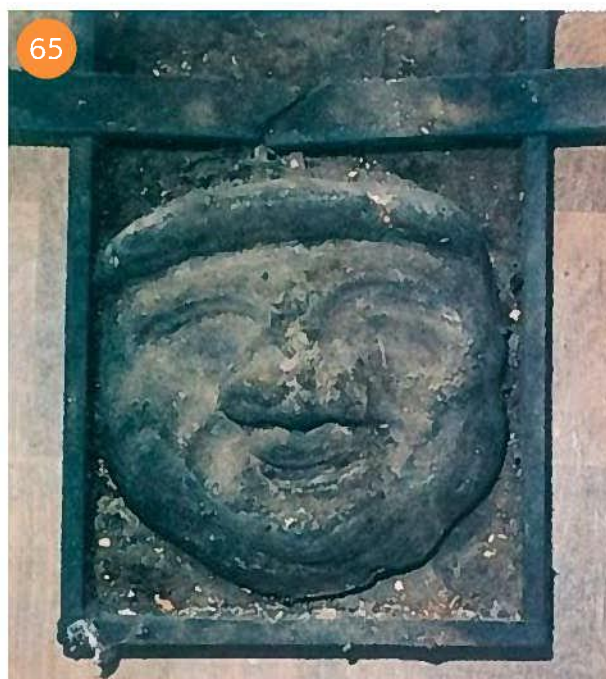


63

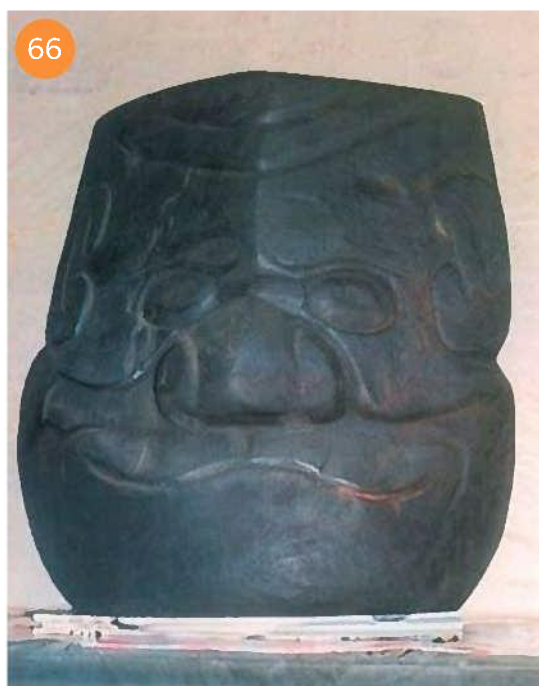
住 所／大東町渡民字榎ノ木  
材 質／木  
寸 法／30×28×10  
備 考／台所北側に祀っている。他の神様と同じように拝む。



64  
住 所／大東町湊民字佐野脇  
材 質／木  
寸 法／33×27×20  
備 考／以前はウシモチ柱にあった。



65  
住 所／大東町曾慶字岩間  
材 質／土  
寸 法／24×23×10



66  
住 所／大東町曾慶字水上  
材 質／木（松）  
寸 法／52×50×22  
備 考／文化5年（1808）作。家を建てるときに修験の大学院の法師さんが作ってくれた。



67  
住 所／大東町曾慶字和山  
材 質／木  
寸 法／40×35×15  
備 考／ヨコザ向き。カマ別当。

# 千 厩 地 域

『千厩町のかま神様オシラサマ』

千厩町文化財保護委員会編

千厩町教育委員会 1980

※寸法は縦×横×厚さ 単位(cm)



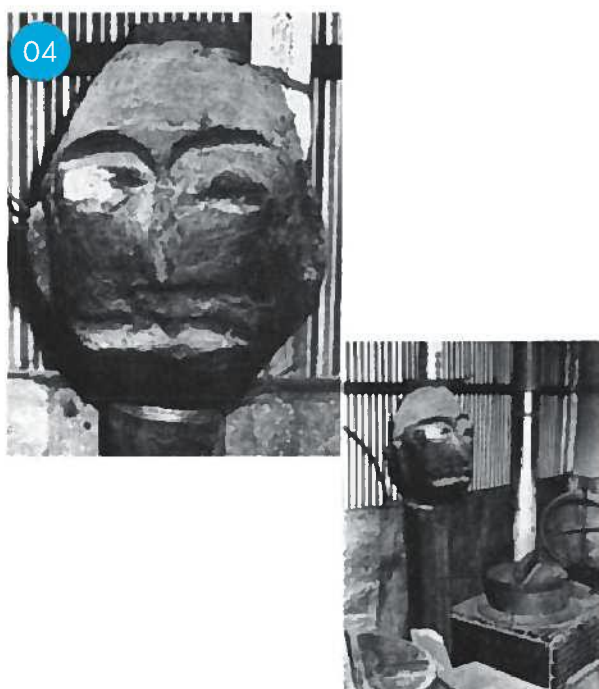
住 所／千厩町小梨字新田  
材 質／土  
寸 法／34.5×37.5×18  
備 考／目はアサリ貝。120年前に西城八重治郎氏が作った。正月にお幣束を立て、しめ縄を張り、餅を供える。



住 所／千厩町小梨字堂ヶ崎  
材 質／土(粘土)  
寸 法／50×40×23  
備 考／目はアワビ貝。ウスモチ柱に祀る。享保年間の作か。正月には幣束を立て、餅を供える。



住 所／千厩町奥玉字竹ノ下  
材 質／木(杉)  
寸 法／32.5×39.3×16  
備 考／台所と土間の境の柱に囲炉裏向きにある。年越しと正月15日に幣束を立て、供え物をする。



住 所／千厩町磬清水字下川原  
 材 質／土（粘土）  
 寸 法／40×33.5×26  
 備 考／粘土の中にツタラが入っている。カマドの上に祀っていた。年神と同じように幣束を立て餅を供える。



住 所／千厩町磬清水字沼田  
 材 質／木（桐）  
 寸 法／30.5×24.5×12.8  
 備 考／厩舎と住宅の間にあった飼料を煮る釜の近くの柱に祀っていた。

# 室根地域

## 『室根のかま神

室根村文化財調査報告書第9集』

室根村文化財調査委員会編

室根村教育委員会 1995

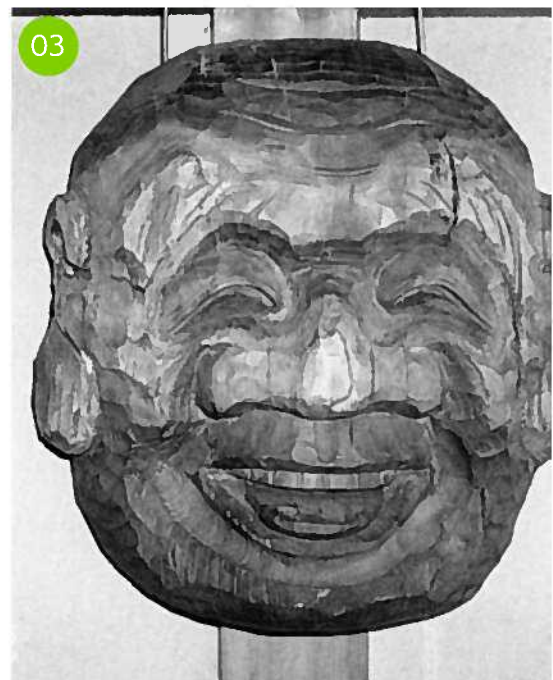
※寸法は縦×横×厚さ 単位(cm)



01  
住 所／室根町折壁字樋口  
材 質／粘土  
寸 法／33×33×15  
備 考／正月にお供えする。目はアワビ貝。



02  
住 所／室根町折壁字留  
材 質／粘土  
寸 法／36×32×11  
備 考／300～400年前からか。大黒柱に祀っていた。正月、毎月1・15・28日に祭祀。



03  
住 所／室根町折壁字入沢  
材 質／木  
寸 法／35×35×16  
備 考／古物商より購入。



04

住 所／室根町折壁字岩田  
 材 質／粘土  
 寸 法／47×36×14  
 備 考／正月、毎月1・15・28日に祭祀。旧宅  
 では大黒柱に祀っていた。



05

住 所／室根町折壁字田茂木  
 材 質／木  
 寸 法／57×46×13  
 備 考／平成2年(1990)伊東和男氏作。居間  
 に祀っている。



06

住 所／室根町折壁字西風田茂木  
 材 質／木  
 寸 法／52×34×12  
 備 考／平成3年(1991)伊東和男氏作。居間  
 に祀っている。



07

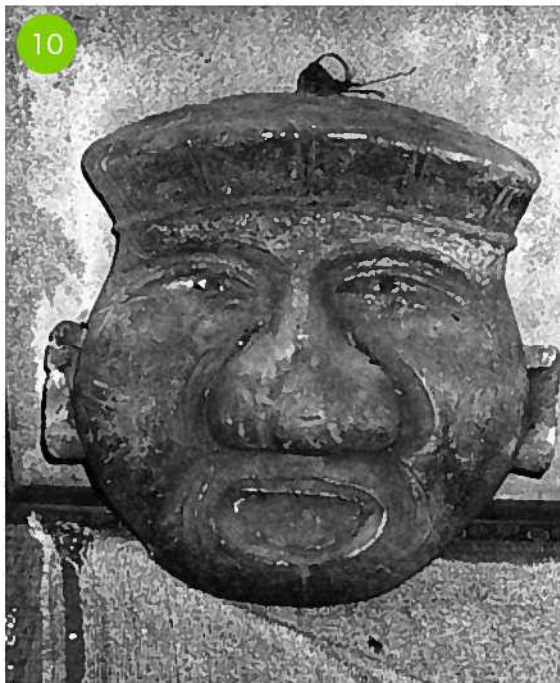
住 所／室根町折壁字大里  
 材 質／木  
 寸 法／76×46×11  
 備 考／平成2年(1990)伊東和男氏作。



08  
住 所／室根町矢越字大畑  
材 質／粘土  
寸 法／34×33×12  
備 考／正月に祭祀。大黒柱に祀っている。



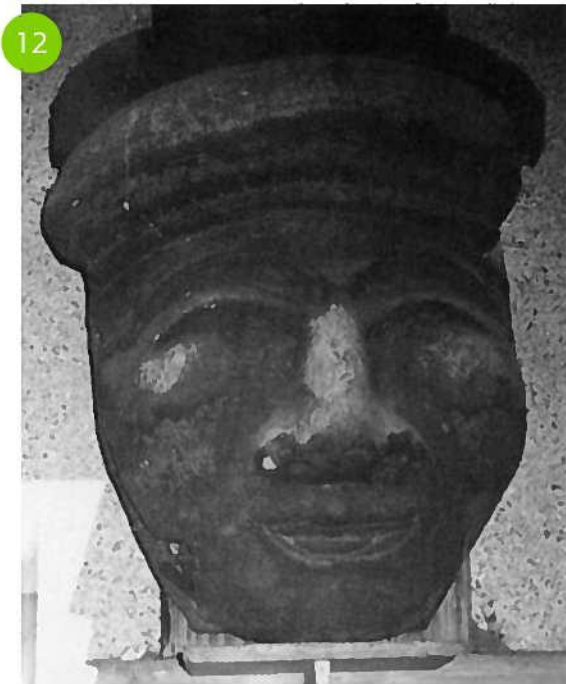
09  
住 所／室根町矢越字二本木  
材 質／粘土  
寸 法／35×34×14



10  
住 所／室根町矢越字堀沢  
材 質／セメント  
寸 法／35×35×14



11  
住 所／室根町矢越字大洞  
材 質／粘土  
寸 法／45×45×8  
備 考／正月に祭祀。ウシモチ柱に祀っている。



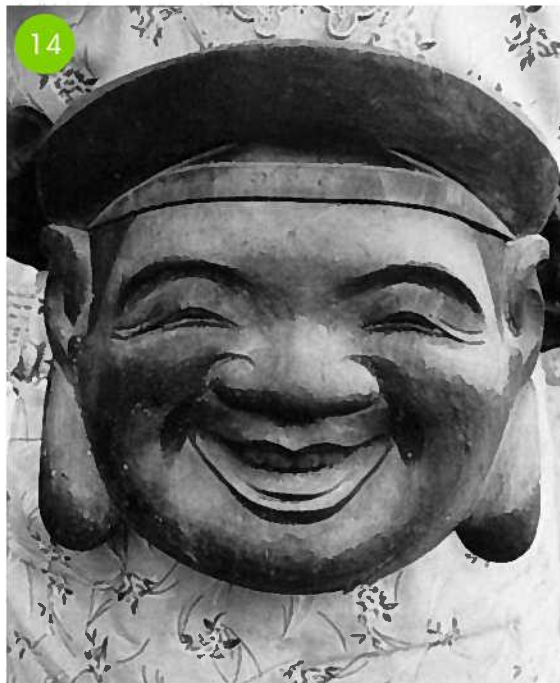
12

住 所／室根町矢越字萩倉  
材 質／粘土  
寸 法／34×32×9  
備 考／正月に祭祀。ウシモチ柱に祀っている。



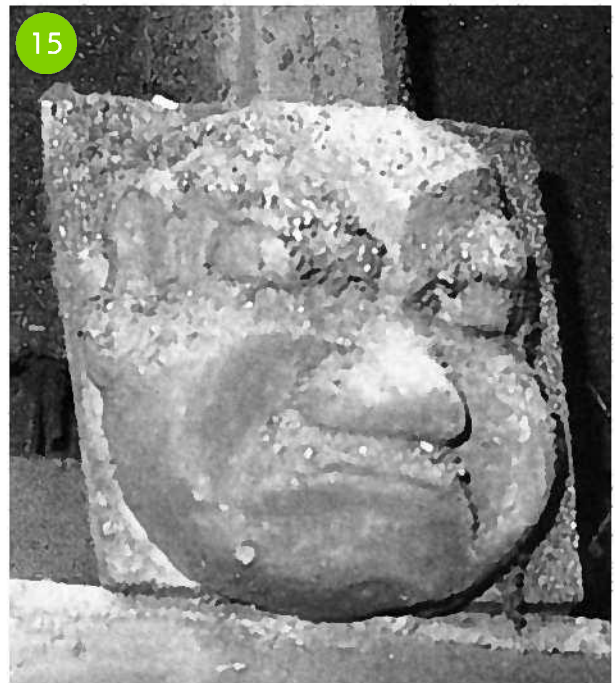
13

住 所／室根町矢越字岩沢  
材 質／木  
寸 法／37×37×33  
備 考／200年以上前の作か。正月に祭祀。ウシモチ柱に祀っている。



14

住 所／室根町矢越字山口  
材 質／木  
寸 法／30×38×11  
備 考／150年位前からか。正月、2月17日、9月17日に祭祀。



15

住 所／室根町津谷川字竹野下  
材 質／粘土  
寸 法／22×22×13  
備 考／正月に祭祀。ウシモチ柱に祀っている。



16  
住 所／室根町津谷川字高山  
材 質／粘土  
寸 法／45×33×9  
備 考／正月に祭祀。広間に祀っている。



17  
住 所／室根村矢越字七日市  
材 質／粘土  
寸 法／37×35×16  
備 考／200年以上前と推定。ヨコザの正面にかけている。大小の正月に祀る。



18  
住 所／室根村矢越字大迎  
材 質／木  
寸 法／36×34×12  
備 考／大黒柱にかけている。大小の正月に祀る。



19  
住 所／室根村津谷川字平原  
材 質／粘土  
寸 法／30×18×12  
備 考／ウシモチ柱にかけている。350年位前と推定。正月・田植・収穫時に祀る。

# 藤 沢 地 域

『藤沢のかま神さまとおしらさま』

『藤沢町文化財調査報告』

藤沢町文化財調査委員会編

藤沢町教育委員会 1980

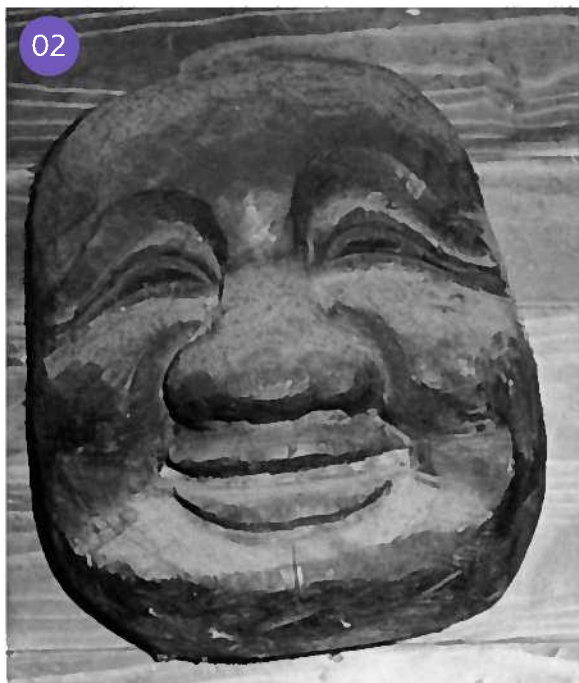
※寸法は縦×横×厚さ 単位(cm)

01



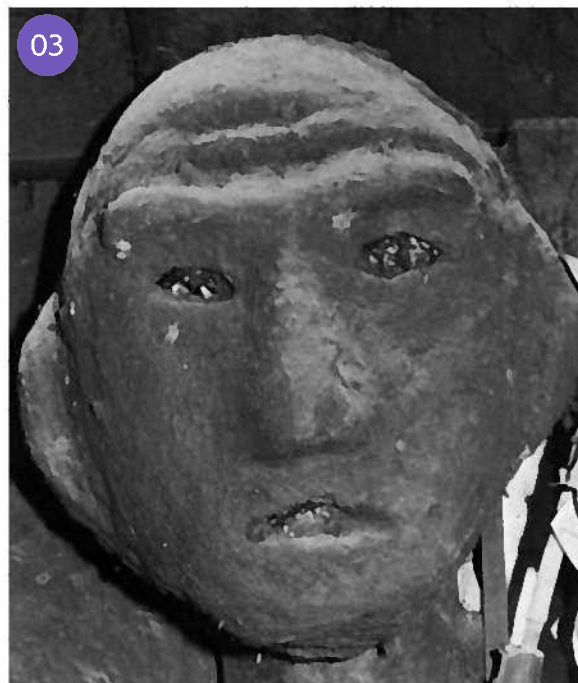
住 所／藤沢町藤沢字八沢  
材 質／粘土  
寸 法／34×27×10  
備 考／安永年間から。祖父より釜神は「すす  
払いは必要ない」と申し伝えがある。正  
月に祭祀。

02

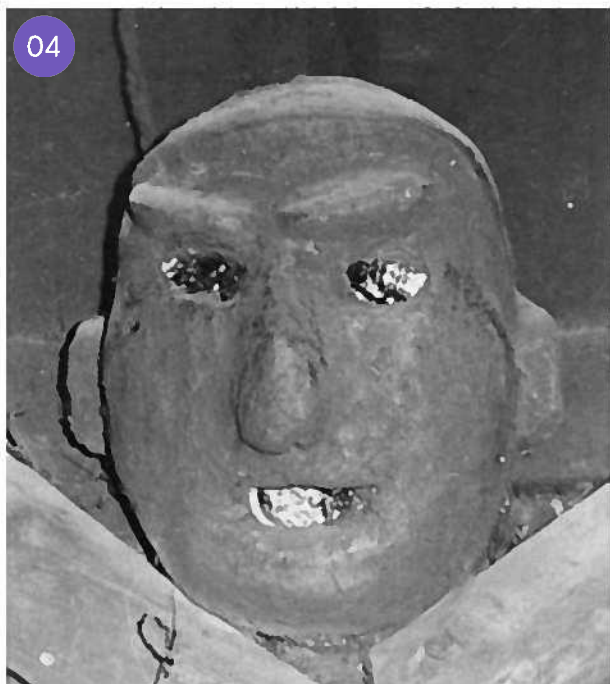


住 所／藤沢町藤沢字馬ノ舟  
材 質／木  
寸 法／34×30×13  
備 考／他の神と同じよう祭祀。

03



住 所／藤沢町藤沢字馬場  
材 質／土  
寸 法／38×33×18  
備 考／破損のため再作成した。他の神と同じ  
ように祭祀。目はアワビ貝。



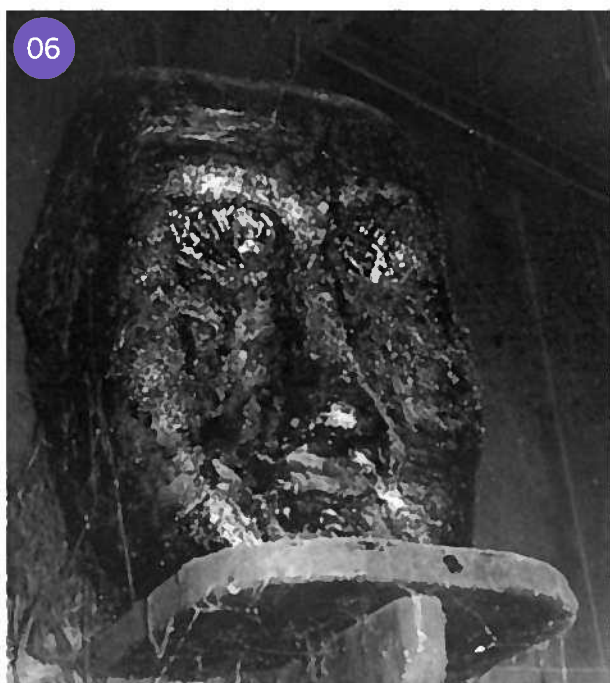
04

住 所／藤沢町藤沢字馬場  
材 質／土  
寸 法／42×35×22  
備 考／他の神と同じように祭祀。目・口はア  
ワビ貝。



05

住 所／藤沢町藤沢字山谷  
材 質／土  
寸 法／60×50×20  
備 考／文五郎の作と伝わる。天井裏に祀って  
いる。



06

住 所／藤沢町藤沢字八沢  
材 質／土  
寸 法／40×28×16



07

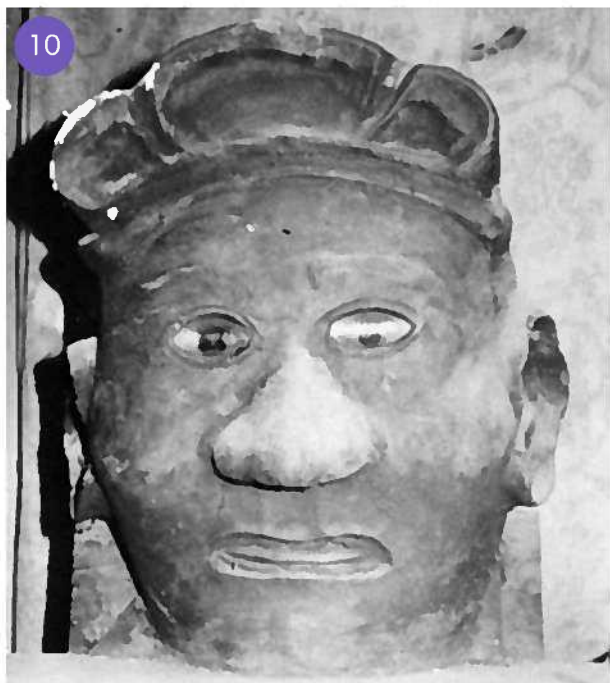
住 所／藤沢町西口字西立石  
材 質／粘土  
寸 法／36×30×11  
備 考／毎年正月に祭祀。7、8は一对。対称  
の柱に祀っている。



08  
住 所／藤沢町西口字西立石  
材 質／粘土  
寸 法／44×24×13  
備 考／毎年正月に祭祀。7、8は一对。対称の柱に祀っている。



09  
住 所／藤沢町西口字西立石  
材 質／壁土  
寸 法／28×30×11



10  
住 所／藤沢町黄海字辻山  
材 質／土  
寸 法／42×34×17  
備 考／明治初年に作成。目はガラス玉。



11  
住 所／藤沢町黄海字深堀  
材 質／土  
寸 法／48×42×22  
備 考／目はアワビ貝。



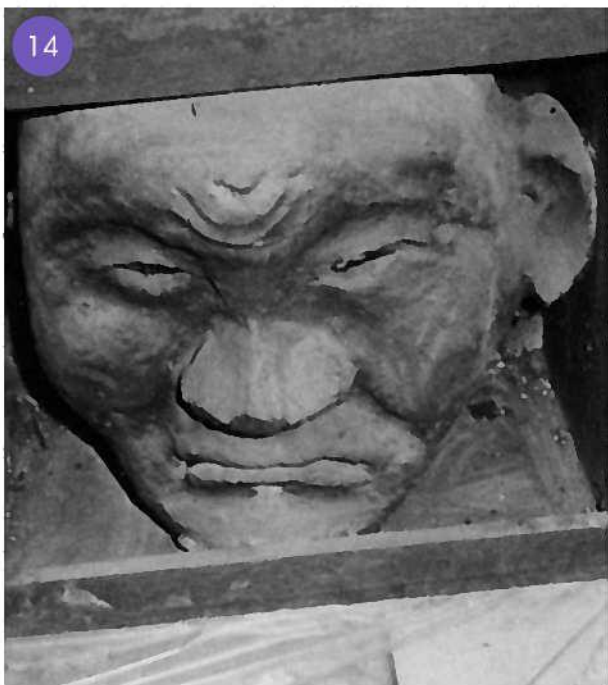
12

住 所／藤沢町黄海字上中山  
材 質／土  
寸 法／28×25×16  
備 考／八代前（享保年間）に作成。口・目は  
アワビ貝。



13

住 所／藤沢町黄海字大橋  
材 質／土  
寸 法／29×23×11  
備 考／天正年間に作成か。目は貝、歯は竹。



14

住 所／藤沢町黄海字熊館  
材 質／粘土  
寸 法／42×41×25  
備 考／目・口は貝。



15

住 所／藤沢町黄海字熊館  
材 質／白粘土  
寸 法／41×27×12



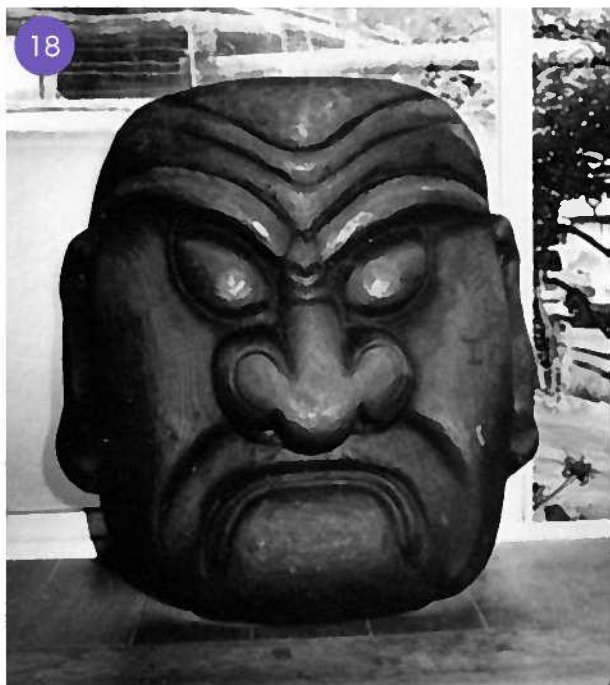
16

住 所／藤沢町砂子田字散平  
材 質／土  
寸 法／35×34×12  
備 考／寛文年間に作成か。貝はハマグリ。



17

住 所／藤沢町徳田字前城  
材 質／土  
寸 法／41×39×34



18

住 所／藤沢町砂子田字百目木  
材 質／木  
寸 法／52×45×12  
備 考／明治末期の作。

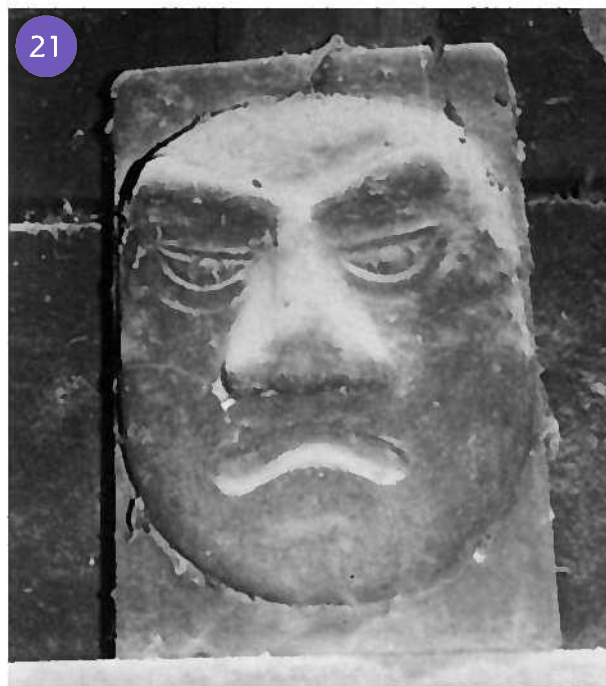


19

住 所／藤沢町新沼字名田  
材 質／土  
寸 法／38×38×18  
備 考／天正年間に作成か。



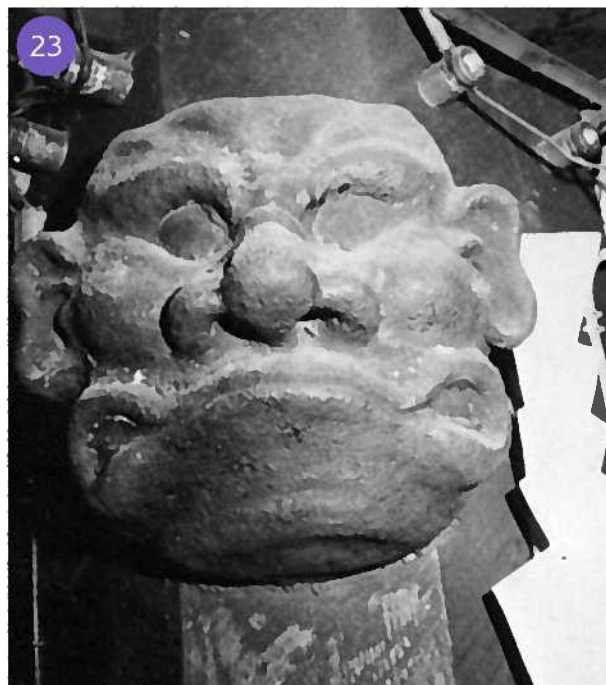
住 所／藤沢町新沼字荷積場  
材 質／木  
寸 法／44×32×9



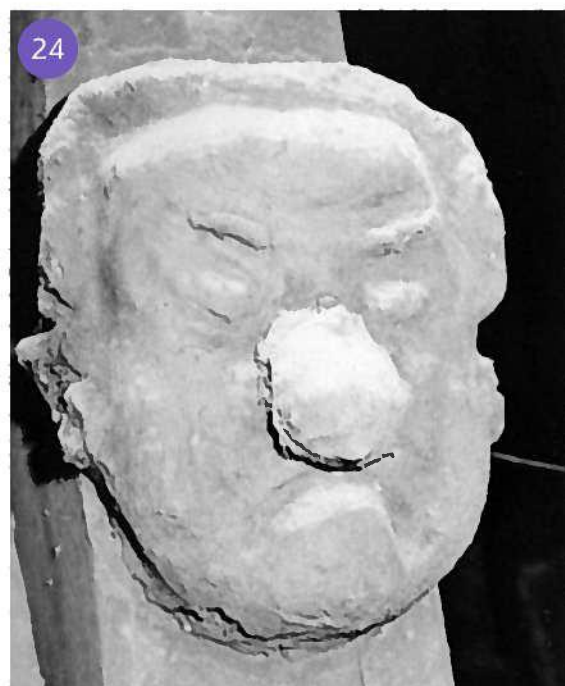
住 所／藤沢町徳田字新地  
寸 法／34×26×13



住 所／藤沢町保呂羽字上野平  
材 質／土  
寸 法／47×38×20



住 所／藤沢町保呂羽字登戸沢  
材 質／土  
寸 法／30×30×12  
備 考／正月1・15日に祭祀。15日は黄金餅を  
供える。



住 所／藤沢町保呂羽字宇道沢  
 材 質／土  
 寸 法／45×40×20  
 備 考／享保年間に作成か。毎月1・15日にお供え。田植の時にも膳を供える。



住 所／藤沢町大籠字高金  
 材 質／土  
 寸 法／30×12×6



住 所／黄海字上中山  
 材 質／壁土  
 寸 法／29×30×18  
 備 考／300年位前か。目・口は貝。



住 所／徳田字桜ノ沢  
 材 質／壁土  
 寸 法／37×30×13